

**第66回税理士試験 相続税法  
第二問(計算)解答**

〔表示内容の説明〕

配点：★・・・2点

●・・・1点

難易度：A・・・絶対得点すべき内容(易)

B・・・取れると差がつく(中)

C・・・得点不要(難)

## 1 各相続人等の相続税の課税価格の計算

(1) 相続又は遺贈により取得した個々の財産(次の(2)及び(3)に該当するものを除く。)の価額の計算

(単位：円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
宅地 I	A	151,085,450 ★A	(1) 自用地の評価額 ① $200,000 \times 0.99 = 198,000$ ② $198,000 + 120,000 \times 0.98 \times 0.03 = 201,528$ ③ $201,528 + 100,000 \times 0.98 \times 0.02 = 203,488$ ④ $203,488 + 140,000 \times 0.99 \times 0.02 = 206,260$ ⑤ $206,260 \times 750 \text{ m}^2 = 154,695,000$ (2) セットバックを必要とする宅地の評価額 $154,695,000 - 154,695,000 \times 25 \text{ m}^2 / 750 \text{ m}^2 \times 0.7 = 151,085,450$
居宅 J	A	24,000,000 ●A	$24,000,000 \times 1.0 = 24,000,000$
宅地 K	A	285,120,000 ★A	(1) 自用地の評価額 ① $(120,000 \times 18 \text{ m} + 130,000 \times 42 \text{ m}) \div (18 \text{ m} + 42 \text{ m}) = 127,000$ $127,000 \times 0.90 = 114,300$ ② $114,300 + 100,000 \times 0.90 \times 0.05 = 118,800$ ③ $118,800 \times 3,000 \text{ m}^2 = 356,400,000$ (2) 貸宅地としての評価額 $356,400,000 \times 80 / 100 = 285,120,000$

(1) 相続又は遺贈により取得した個々の財産(次の(2)及び(3)に該当するものを除く。)の価額の計算(続き)

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
宅地L	C	22,000,000 ●A	$20,000,000 \times 1.1 = 22,000,000$
N銀行O支店 普通預金	B C E H	25,000,000 25,000,000 25,000,000 25,000,000 ●A	$100,000,000 \times 1/4 = 25,000,000$
N銀行O支店 証券投資信託 受益証券	H	10,015,937 ●B	$1 \times 10,000,000 \text{口} + 20,000 - 20,000 \times 20.315\% - 0 = 10,015,937$
Pに対する貸付 金債権	C	10,014,400 ●B	$10,000,000 + 10,000,000 \times 1.46\% \times 36 \text{日} / 365 \text{日} = 10,014,400$ (注) H28. 4. 1 ~ H28. 5. 6 = 36日(両端入れ)
その他の財産			
配当期待権	B D E	636,640 795,800 159,160 ●B	$(100 - 100 \times 20.42\%) \times 8,000 \text{株} = 636,640$ $(100 - 100 \times 20.42\%) \times 10,000 \text{株} = 795,800$ $(100 - 100 \times 20.42\%) \times 2,000 \text{株} = 159,160$
家庭用財産	A	500,000	

(1) 相続又は遺贈により取得した個々の財産(次の(2)及び(3)に該当するものを除く。)の価額の計算(続き)

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
生命保険契約に関する権利	D	8,000,000 ●A	

(2) 相続又は遺贈により取得した個々の財産(取引相場のないM社株式)の価額の計算

イ 評価方法の判定

(1) 同族株主の判定 (A、B、D、E) : 41,000個/50,000個=82% > 50% ∴ 同族株主に該当する
(2) 評価方法の判定(判定結果●A) B : 12,000個/50,000個=24% ≥ 5% ∴ 原則評価 D : 12,000個/50,000個=24% ≥ 5% ∴ 原則評価 E : 2,000個/50,000個=4% < 5%、役員でない、中心的な同族株主に該当する ∴ 原則評価 (注) E (A、D、E) : 29,000個/50,000個=58% ≥ 25% ∴ 中心的な同族株主に該当する

ロ 純資産価額の計算

(イ) 資産の部

(単位:円)

科目	帳簿価額	相続税評価額	計 算 過 程
資産の合計額	735,000,000	885,000,000●B	
保険積立金	0	0	(注) 財産性がないため計上しない
未収保険金	20,000,000	20,000,000●A	
合計	755,000,000	905,000,000	

(ロ) 負債の部

(単位：円)

科 目	帳簿価額	相続税評価額	計 算 過 程
負債の合計額	500,000,000	500,000,000	
未払固定資産税	2,500,000	2,500,000	
未払法人税等	12,000,000	12,000,000 ● A	
未払消費税等	15,000,000	15,000,000	
未払退職手当金等	3,000,000	3,000,000 ● A	$3,000,000 + (500,000 - 100,000 \times 6 \text{月} = \Delta \rightarrow 0) = 3,000,000$
保険差益に対する法人税額等	555,000	555,000 ● C	$(20,000,000 - 15,000,000 - 3,000,000 - 500,000) \times 37\% = 555,000$
合 計	533,055,000	533,055,000	

(ハ) 1株当たりの純資産価額の計算

(単位：円)

計 算 過 程
(1) 相続税評価額による純資産価額 $905,000,000 - 533,055,000 = 371,945,000$
(2) 帳簿価額による純資産価額 $755,000,000 - 533,055,000 = 221,945,000$
(3) 評価差額に対する法人税額等に相当する金額 $(371,945,000 - 221,945,000) \times 37\% = 55,500,000$
(4) 純資産価額 $(371,945,000 - 55,500,000) \div 50,000 \text{株} = 6,328.9 \rightarrow 6,328 \text{ ● C}$

ハ 1株当たりの価額の計算

(単位：円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
M社株式	B	29,240,000	(1) 類似業種比準価額の計算 ① 1株当たりの資本金等の額 $25,000,000 \div 50,000 \text{株} = 500$ ② 1株当たりの資本金等の額を50円とした場合の発行済株式数 $25,000,000 \div 50 = 500,000 \text{株}$ ③ 1株当たりの年配当金額 $(10,000,000 - 5,000,000 + 5,000,000) \div 2 \div 500,000 \text{株} = 10.0$ ④ 1株当たりの年利益金額 $50,000,000 > (50,000,000 + 2,000,000) \div 2 = 26,000,000$ $\therefore 26,000,000 \div 500,000 \text{株} = 52$
	D	36,550,000	
	E	7,310,000	

ハ 1株当たりの価額の計算(続き)

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
			⑤ 1株当たりの純資産価額 $(25,000,000 + 220,000,000) \div 500,000 \text{株} = 490$ ⑥ 類似業種比準価額 $165、155、150、160 \rightarrow 150 \text{が最小} \therefore 150$ $\frac{10.0}{3.0} (3.33) + \frac{52}{15} (3.46) \times 3 + \frac{490}{205} (2.39)$ $150 \times \frac{\quad}{5} (3.22) \times 0.6 = 289.8$ $289.8 \times \frac{500}{50} = 2,898 \star B$ (2) 純資産価額 $6,328$ (3) 原則的評価額(併用価額) $2,898 < 6,328$ $\therefore 2,898 + 0.75 + 6,328 \times (1 - 0.75) = 3,755.5 \rightarrow 3,755$ (4) 原則的評価額の修正計算 $3,755 - 100 \bullet B = 3,655$ (5) 各人の課税価格に算入される金額 B $3,655 \times 8,000 \text{株} = 29,240,000$ D $3,655 \times 10,000 \text{株} = 36,550,000$ E $3,655 \times 2,000 \text{株} = 7,310,000$

## ハ 1株当たりの価額の計算(続き)

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程

## (3) 相続又は遺贈によるみなし相続財産の価額の計算

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
退職手当金等			
M社死亡退職金	A	3,000,000 ●A	$3,000,000 + 500,000 - 500,000$ (注) = 3,000,000 (注) $500,000 < 100,000 \times 6 \text{月} = 600,000 \therefore 500,000$
退職手当金等の非課税金額	A	△ 3,000,000	(退職手当金等の非課税金額の計算) (1) 非課税限度額 $5,000,000 \times 5 \text{人 (法定相続人の数)} = 25,000,000$ (2) 相続人の取得金額 A 3,000,000 (3) (1) $\geq$ (2) $\therefore$ A 3,000,000

## (3) 相続又は遺贈によるみなし相続財産の価額の計算(続き)

(単位:円)

財産の種類	取得者	課税価格に算入される金額	計 算 過 程
生命保険金等			
Q生命保険金	D E	20,000,000 20,000,000 ●A	$40,000,000 \times 1/2 = 20,000,000$
R生命保険金	B	20,000,000 ●A	
生命保険金等の非課税金額	B D	$\Delta 12,500,000$ $\Delta 12,500,000$ ●A	(生命保険金等の非課税金額の計算) (1) 非課税限度額 $5,000,000 \times 5 \text{人(法定相続人の数)} = 25,000,000$ (2) 相続人の取得金額 B 20,000,000 D 20,000,000 計 40,000,000 (注) Eは相続人でないため適用なし (3) (1) < (2) $\therefore$ B $25,000,000 \times 20,000,000 / 40,000,000 = 12,500,000$ D $25,000,000 \times 20,000,000 / 40,000,000 = 12,500,000$
上記以外の相続 又は遺贈による みなし相続財産			
保証期間付定期金に関する権利	A	3,990,000 ●B	(1) $1,000,000 \times 3.990 = 3,990,000$ (注) H28.5.6 ~ H31.6.30 = 3年2月 → 4年 $1,000,000 \times 4 \text{回} \div 4 \text{年} = 1,000,000$ (2) 3,990,000 (3) 3,990,000 (4) (1)~(3)の最大金額 $\therefore$ 3,990,000

## (4) 小規模宅地等の特例の計算

(単位：円)

(1) 適用判定 宅地 I (A、特居) $151,085,450 \div 750 \text{ m}^2 \times (1 - 20/100) \times 330/200 \approx 265,910$ 順位① ( $750 \text{ m}^2/330 \text{ m}^2 = 2.27\dots$ ) 宅地 K (A、特同) $285,120,000 \div 3,000 \text{ m}^2 \times (1 - 20/100) \times 400/200 \approx 152,064$ 順位② ( $3,000 \text{ m}^2/400 \text{ m}^2 = 7.5$ ) 宅地 L (C、貸付) $22,000,000 \div 500 \text{ m}^2 \times (1 - 50/100) = 22,000$ → 貸付事業用宅地等を選択しない (貸付事業用宅地等を選択する場合の方が不利であることが明らかなため、判定は省略) 特定事業用等宅地等 宅地 K $3,000 \text{ m}^2 > 400 \text{ m}^2 \therefore 400 \text{ m}^2$ まで 特定居住用宅地等 宅地 I $750 \text{ m}^2 > 330 \text{ m}^2 \therefore 330 \text{ m}^2$ まで		
(2) 減額金額 宅地 I (A、特居) $151,085,450 \times 330 \text{ m}^2 / 750 \text{ m}^2 \times (1 - 20/100) = 53,182,078$ 宅地 K (A、特同) $285,120,000 \times 400 \text{ m}^2 \div 3,000 \text{ m}^2 \times (1 - 20/100) = 30,412,800$		
特 例 適 用 対 象 財 産	取 得 者	課税価格から減額される金額
宅 地 I	A	53,182,078 ● B
宅 地 K	A	30,412,800 ● B

## (5) 課税価格から控除すべき債務及び葬式費用

(単位：円)

債 務 及 び 葬 式 費 用	負 担 者	金 額	計 算 過 程
債務	A C	2,210,000 200,000 ● A	$200,000 + 200,000 + 1,800,000 + 10,000 = 2,210,000$



## (5) 課税価格から控除すべき債務及び葬式費用(続き)

(単位:円)

債務及び葬式費用	負担者	金額	計算過程
葬式費用	A	3,800,000 ●A	$300,000 + 1,000,000 + 1,000,000 + 1,500,000 = 3,800,000$ (注) 香典返戻費用は対象外 香典収入は贈与税の非課税財産

## (6) 課税価格に加算する贈与財産(暦年贈与財産)価額の計算

(単位:円)

贈与年分	受贈者	加算される贈与財産価額	計算過程
平成25年分	E	2,000,000 ●A	
平成26年分	E	0 ●A	$2,000,000 - 2,000,000 = 0$ (注) $2,000,000 \leq 15,000,000 \therefore 2,000,000$
平成27年分	F	—	(注) 相続税の納税義務者に該当しないため、適用なし●A
平成28年分	V	—	(注) 相続税の納税義務者に該当しないため、適用なし
平成28年分	E	1,200,000 ●B	(教育資金一括贈与の非課税に係る終了時課税)

## (7) 相続時精算課税に係る贈与財産価額の計算

(単位:円)

贈与年分	受贈者	加算される贈与財産価額	計算過程
平成23年分	C	27,000,000	
平成27年分	C	1,000,000	

## (8) 各相続人等の課税価格の計算

(単位：円)

相続人等 区 分	A	B	C	D	H	E	計
相続又は遺贈による 取得財産	377,110,572	54,876,640	57,014,400	45,345,800	35,015,937	32,469,160	
みなし取得財産	3,990,000	7,500,000		7,500,000		20,000,000	
相続時精算課税の適 用を受ける贈与財産			28,000,000 ●A				
債務及び葬式費用	△6,010,000		△ 200,000				
生前贈与加算 (暦年課税分)						3,200,000	
課 税 価 格 (1,000円未満切捨て)	375,090,000	62,376,000	84,814,000	52,845,000	35,015,000	55,669,000	665,809,000

## 2 納付すべき相続税額の計算

## (1) 相続税の総額の計算

課税価格の合計額		遺産に係る基礎控除額		課税遺産額	
665,809 千円		30,000+6,000×5人=60,000●A千円		605,809 千円	
法定相続人	法定相続分	法定相続分に応ずる取得金額		相続税の総額の基となる税額	
A	1/5	121,161 千円		31,464,400 円	
B	1/5	121,161		31,464,400	
C	1/5	121,161		31,464,400	
D	1/5	121,161		31,464,400	
H	1/5	121,161		31,464,400	
	★A				
合計	5 人	1		(100円未満切捨て) 157,322,000 円	

## (2) 各相続人等の納付すべき相続税額の計算

(単位：円)

相続人等		A	B	C	D	H	E		計
算出税額		88,628,884	14,738,636	20,040,444	12,486,585	8,273,588	13,153,860		157,322,000
加算又は減算	相続税額の2割加算額				2,497,317		2,630,772		
	贈与税額控除額 (暦年課税)						△ 212,000 ● B		
	障害者控除額			△1,840,000 ● B		△3,000,000 ● B			
	相次相続控除額	△4,528,626	△ 753,099	△1,023,999	△ 638,029	△ 422,762			
差引税額	84,100,258	13,985,537	17,176,445	14,345,873	4,850,826	15,572,632			
贈与税額控除額 (相続時精算課税分)			△ 600,000 ● B						
納付税額 (100円未満切捨て)	84,100,200	13,985,500	16,576,400	14,345,800	4,850,800	15,572,600		149,431,300 ● C	

(注) 相続税額の2割加算及び控除金額等の計算過程は、次の(3)に記載する。

## (3) 相続税額の2割加算及び控除金額の計算

(単位：円)

加算及び控除の項目	対象者	金額	計算過程
相続税額の2割加算	D	2,497,317	$12,486,585 \times 20/100 = 2,497,317$
	E ● A (対象者)	2,630,772	$13,153,860 \times 20/100 = 2,630,772$
贈与税額控除 (暦年課税分)	E	212,000	(1) 平成25年分 $(2,000,000 + 3,000,000 - 1,100,000) \times 20\% - 250,000 = 530,000$ $530,000 \times \frac{2,000,000}{2,000,000 + 3,000,000} = 212,000$ (2) 平成28年分 相続開始年分の生前贈与加算適用財産であるため、贈与税は非課税 (3) (1)+(2)=212,000

## (3) 相続税額の2割加算及び控除金額の計算(続き)

(単位:円)

加算及び控除の項目	対象者	金額	計算過程
障害者控除	C	1,840,000	(1) $200,000 \times (85\text{歳} - 64\text{歳}) = 4,200,000$ (2) $200,000 \times (85\text{歳} - 62\text{歳}) - 2,760,000 = 1,840,000$ (3) (1) > (2) $\therefore 1,840,000$
	H	3,000,000	$200,000 \times (85\text{歳} - 70\text{歳}) = 3,000,000$
相次相続控除	A	4,528,626	(1) 純資産価額の計算(省略して可) A $377,110,572 + 3,990,000 - 6,010,000 = 375,090,572$ B $54,876,640 + 7,500,000 = 62,376,640$ C $57,014,400 + 28,000,000 - 200,000 = 84,814,400$ D $45,345,800 + 7,500,000 = 52,845,800$ E $32,469,160 + 20,000,000 = 52,469,160$ H $35,015,937$ 計 $662,612,509$ (2) 総控除額の計算 $10,000,000 \times \frac{100}{100} \times \frac{10\text{年} - 2\text{年}}{10\text{年}} = 8,000,000$ ●B (注) 1 $100,000,000 + 90,000,000 + (50,000,000 - 25,000,000) - 15,000,000 = 200,000,000$ 2 $\frac{662,612,509}{200,000,000 - 10,000,000} > \frac{100}{100} \therefore \frac{100}{100}$ 3 H26. 1. 10 ~ H28. 5. 6 = 2年4月 → 2年 (3) 各人の控除額(計算方法●B) A $8,000,000 \times 375,090,572 / 662,612,509 = 4,528,626$ B $8,000,000 \times 62,376,640 / 662,612,509 = 753,099$ C $8,000,000 \times 84,814,400 / 662,612,509 = 1,023,999$ D $8,000,000 \times 52,845,800 / 662,612,509 = 638,029$ H $8,000,000 \times 35,015,937 / 662,612,509 = 422,762$ (注) Eは相続人でないため適用なし
	B	753,099	
	C	1,023,999	
	D	638,029	
	H	422,762	
	●B (対象者)		

## (3) 相続税額の2割加算及び控除金額の計算(続き)

(単位:円)

加算及び控除の項目	対象者	金額	計算過程
贈与税額控除 (相続時精算課税分)	C	600,000	(1) 平成23年分 $(27,000,000 - 25,000,000) \times 20\% = 400,000$ (注) $27,000,000 > 25,000,000 \therefore 25,000,000$ (2) 平成27年分 $(1,000,000 - 0) \times 20\% = 200,000$ (注) $1,000,000 < 25,000,000 - 25,000,000 = 0 \therefore 0$ (3) $(1) + (2) = 600,000$

## 3 各受贈者が納付すべき平成28年分贈与税額の計算

(単位:円)

受贈者	金額	計算過程
F	365,000 ★B	$(4,200,000 - 1,100,000) \times 15\% - 100,000 = 365,000$ (注) 教育資金一括贈与の非課税に係る終了時課税
V	90,000 ●B	$(2,000,000 - 1,100,000) \times 10\% = 90,000$
A	—	(注) 香典収入は贈与税の非課税財産 (記載がなくても可)
E	—	(注) 相続開始年分の生前贈与加算適用財産であるため、贈与税は非課税 (記載がなくても可)